

君津中央病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

この研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

研究課題名	<i>Aeromonas caviae</i> 検出増加を受けての ERCP 感染制御対策の妥当性の検討（研究倫理委員会承認番号：806）
当院の研究責任者 （所属）	熊谷 純一郎（消化器内科）
他の研究機関及び 各施設の研究責任者	なし
本研究の目的	当院で胆汁培養や血液培養からの <i>A.caviae</i> （食中毒や下痢症の原因菌の一種）の検出頻度は1ヶ月に1例程度であったが、2ヶ月間に5例で検出された。5例中4例で培養検査前に当院でのERCPの施行歴があった。感染制御チームが介入し、使用している十二指腸鏡やERCPで使用している透視室の環境培養を施行したところ、透視室の上水道のシンクの排水溝周囲のみから <i>A.caviae</i> が検出された。感染制御チームとも相談を行い、対策を施行した。対策と感染対策の妥当性を検討することを目的とした。
調査データの 該当期間	2021年6月から2024年5月
研究の方法 （対象となる方）	当院で胆汁または血液培養を施行した症例のうち、対策前ERCP施行歴のある方と対策後ERCP施行歴のある方
研究の方法 （使用する情報）	2021年6月から2024年5月までに、胆汁もしくは血液培養を採取した症例で、対策前ERCPの施行歴がある症例をBefore群と定義し、対策後ERCPの施行歴のみがある症例をAfter群と定義し、Before群とAfter群の <i>A.caviae</i> 検出頻度を後方視的に比較検討する。

	評価項目は、性別、年齢、基礎疾患、ERCP時使用スコープEST歴、胆管ステント留置歴、ERCP施行後から検体採取までの期間血液検査結果、A.caviae, extended-spectrum β-lactamase 産生大腸菌（ESBL 産生大腸菌）、緑膿菌、Citrobacter freundii, Serratia marcescens を検出した割合とする。
資料・情報の他機関への提供	なし
個人情報の取扱い	本研究に関わる関係者は患者の個人情報保護について遵守される法令、条例などを遵守する。研究者が研究で得られた情報を公表する際には患者が特定できないよう、十分配慮する。被験者から本研究への参加を希望しない旨の申し出があった場合には、直ちに当該被験者の試料および診療情報を解析対象から除外し、本研究に使用しないこととする。
本研究の資金源（利益相反）	なし
お問い合わせ先	君津中央病院 消化器内科 住所 〒292-8535 木更津市桜井 1010 電話番号 0438-36-1071 担当者 熊谷純一郎（kuma920jun@yahoo.co.jp）
備考	